

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス チャオII		
○保護者評価実施期間	令和6年12月13日	～	令和6年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	令和6年12月13日	～	令和6年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者・保護者に寄り添った支援	保育士が主となり、集団活動の指導経験を活かして社会性を育むと共に、発達を身体的・感情的・社会的・認知的に多角的に捉え、全体的な視点で支援を行っています。保護者との連携も密に行い、不安や期待に寄り添いながら成長を総合的にサポートできるよう努めています。	引き続き、個別支援計画を作成し保護者と連携して柔軟に見直しを行う中で、より細かくコミュニケーションを取りながら家庭での状況や希望を把握していきます。今後も、利用者の自己肯定感を高める支援を行い、成功体験を積み重ねることができるよう支援していきます。
2	集団生活に特化した支援	グループ活動を通じてチームワークやコミュニケーション能力を養い、役割分担や集団ルールの学習を行えるよう支援しています。集団での会話やディスカッションを促進し、社会的スキルを実践的に身に付けると共に、前向きなフィードバックを行いながら個々に応じた対応を行っています。	今後も、スタッフのスキルや知識の向上を図るために、定期的な研修や勉強会を開催し、最新の支援方法や福祉に関する知識を学んでいきます。また、職員間で連携を図り、より協力体制を強化していくことができるよう努めていきます。
3	様々な体験プログラムの提供	室内での集団活動の他に、園外活動やクッキング、買い物学習などを通じて、社会的マナーや生活に必要なスキルを身に付けていくことができるよう様々なプログラムを取り入れています。友だちと一緒に様々な物事に挑戦していくことで、興味の幅を広げ自立に向けて自信を持って取り組める物事を増やしていけるよう支援しています。	今後も、一人ひとりの興味や好きなことに基づいた活動を組み込みながら成功体験を重ねていくことで、自己肯定感を高め、将来に向けての自立に繋げていけるよう支援していきます。また、利用者が進学や他機関を利用する際には、適切な情報提供を行い関係機関と連携を図っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流ができていない	コロナウィルスの影響を受けて一時的に交流を中止していました。その後、コロナ禍の収束を受けて再開を検討してきましたが、依然として感染防止対策や新しい形態での交流方法の確立に時間を要し、まだ地域とのつながりの再構築に向けたステップが十分に進んでいない状況です。そのため、地域交流が再開できていない現状が続いています。	今後は、地域交流再開に向けて、まず地域との連携を深めるために関係構築や協力体制を整えていきます。そして利用児童の安全を最優先に考え、事前にイベントの内容や安全管理、スタッフ配置を確認し計画的に進めていきます。準備をしっかりと行い、安全で楽しい交流の場を提供するために努めていきます。
2	ペアレントトレーニングや、きょうだい支援の場がない	放課後等デイサービスの活動プログラムとして時間や施設内でのスペースの制約もあり、現状、適切な時間や場所が確保できず提供できておりません。また、支援スタッフの人数が限られていることもあり、個別支援や集団支援を優先して支援を行っています。	これまで通り、個別面談や保護者交流会を定期的に行い、保護者様との情報交換や意見交換の場を設けることで支援のニーズを把握し必要なサポートをより具体的に検討していきます。
3	活動のスペースに限りがある	ビル内の一室に事業所があるため室内のスペースに限りがあり活動内容に一定の制約があります。しかし、限られたスペースを最大限に活用し、日々子どもたちが楽しく活動できるよう工夫をしています。	今後も、室内の使い方の工夫をしていくだけでなく、定期的に公園や広場へ出かけることで、よりダイナミックに体を動かす機会を提供し、心身の成長を支援していきます。